

杜の伝言板



特集 復興への道

大震災から半年
救援活動から生活支援へでもまだまだ

●石巻災害復興支援協議会

被災した子どもたちにスポーツを

●石巻スポーツ振興サポートセンター

五百人が葛蒲田浜で清掃
海に向かって黙禱

●七ヶ浜再生プロジェクト



▲石巻スポーツ振興サポートセンター



▲巨理いちごっこ

『つながりを信じて』
~多くの人々とのつながりに
支えられた遺族の心のサポート

●仙台グリーフケア研究会

食から始まる、つながり

●巨理いちごっこ



赤い羽根「災害ボランティア・NPO活動サポート募金」助成事業

●みやぎNPOプラザ
「NPOのCB(コミュニティビジネス)を応援! Vol.2
短期ショップスペース ~20世紀アーカイブ仙台~」

大震災から半年

救援支援から生活支援へ

でもまだまだ

石巻災害復興支援協議会



石巻災害復興支援協議会

マグニチュード9.0の大地震が発生し、10mをはるかに超える大津波が押し寄せた太平洋沿岸。発災直後の県内の避難所は、一時1200ヶ所を越えましたが、半年が過ぎて96ヶ所(9月22日現在)と縮小されています。しかし、宮城県の第2の都市である石巻市は、未だ45ヶ所の避難所に1200人を超える避難者が暮らしています。そして、発災直後から救援活動に入った県内外のNPO・NGOは、現在もボランティア活動を続けています。

▼代表の伊藤秀樹さん



石巻市は、市内の十三・二% (平野部の約三十%) が浸水し、死者、行方不明者が三千九百人を超える大きな被害となりました。避難所となるべき施設も被災した中で、北上川沿いにありながら被災を免れた石巻専修大学には、被災した市民や専修大学の学生の避難場所となり、一時は二人を受入れました。

また、広大な敷地であったことで、この大学の校舎や敷地は救援活動に提供され、すぐさま救助・救援活動や緊急物資の輸送等のためのヘリポートとして使用されたほか、三月十五日からは、日本赤十字社の救護所、隣接の総合運動公園とともに自衛隊の宿営地として、そして石巻市社会福祉協議会もこの大学の校舎五号館の一階に石巻市災害ボランティアセンターを立ち上げたのでした。この時の石巻市は、まだ、電気や電話も繋がらず、インターネット回線も破壊され、情報の受発信ができませんでした。

しかし、この惨事をニュースやインターネットで知った全国のNPOやNGO、そして個人ボランティアは、救援のために被災地向かう準備をしていました。なんと地震が起きた翌日の十二日には、仙台

入りした医療チームのNGOを始め、新潟や秋田経由で被災に向かった多くの団体。国外で救援活動をする事になったNGOは、まず現地地に先発隊を送り、状況に合わせた資材や救援物資を組織に連絡し、長期の滞在を視野に準備万端で駆けつけました。

●●● 県外からのボランティアも

被災地の市や町は、社会福祉協議会が災害ボランティアセンターを立ち上げましたが、今回の震災は、津波で亡くなった方も多いほか、家を完全に津波で流出、一階に浸水して半壊や全壊の家、ライフラインはストップ、さらにガソリンの補給基地が被災してのガソリン不足などが影響し、最初はボランティアの派遣がすすみませんでした。しかし、被災地の避難所や被災しても自宅に留まる自宅避難者にとっては、なかなか救援物資が届かず、一日一食も取れない厳しい日々がありました。

発災三〜四日後から各地に、海外での救援活動の経験が多いNGOや災害救援活動をしてきたNPOが次々と救援に入り、石巻市では、その団体が増えるにつれ、炊き出しの実施する場所や救援物資の内容が、重複したり集中することができたのです。そこで、被災地で活動するNPOやNGOの状況把握と、多くの被災者に食べ物と物資が提供されるように調整の場を設けることが始まりました。それが三月二十日から始まった「石巻支援NPO・NGO連絡会議」です。

●●● それぞれの特技とチーム力を生かし

石巻災害復興支援協議会は、石巻を拠点に災害復興支援に関わるNPO・NGOや特殊なスキルを持つ個人の人たちが連携し、円滑に効率的な活動ができるようにするための「場」を提供しています。特に、石巻市民から要請させることに対して個人ボランティアをマッチングして派遣する役割の石巻災害ボランティアセンターと協働で、炊き出しなどの予め目的を持って活動する団体の連携をサポートしています。

最初は、各団体の活動の情報共有や炊き出しなどの団体ごとの調整でしたが、次第に活動する内容に分けた団体の枠を越えて連携による救援活動に変化していき、現在では、協議会に十一の分科会を持って活動しています。

●炊きだし

避難所や在宅避難者向けのニーズと、炊き出し提供団体とのマッチングを行い、炊き出しを提供。

●メディカル

医師や看護師の往診をはじめ、褥瘡のケアやリハビリを実施。

●リラクゼーション

資格やスキルを持っている個人ボランティアがチームを作って理容やマッサージ、整体などを実施。

●こころのケア

臨床心理士やストレスケアに取り組むグループ等が調整し、被災者の心の負担を軽減するため活動。

●キッズ

紙芝居、音楽、お菓子やおもちゃの配布等による、子どものケア。

●移送

交通手段のなくなった被災者に、通院や入浴、役所での手続き等のための車による移送サービスを提供。

●マッドバスターズ(泥清掃)

家庭からの泥だし・家具だし作業です。

●生活支援(仮設支援)

仮設住居に入られる方に対し、必要物資の配布などの包括的な支援。

●復興マイナード

被災地の復興意識を啓発するイベントを企画・開催。

●ダニバスターズ(避難所衛生改善)

ダニの発生が報告されている避難所の布団や毛布を交換・乾燥して環境改善

●仮設サロン

応急仮設住宅の集会所や談話室を活用してお茶会・マッサージ・講習などのコミュニケーション支援

これに加え、最近では漁業支援も

行っています。

中でも当初から威力を発揮しているのが、マッドバスターズの活動です。ヘドロと腐った魚の臭いが混ざった真っ黒な泥や瓦礫に埋もれ、途方にくれていた街中商店街の歩道や車道は、一時にボランティアを大勢集中して泥清掃に取り組み。この結果は、ご覧の通り。



▲ 瓦礫撤去前

半年が経って

まだ、避難所で生活している被災者がいたり、家屋内外の片付けや家財道具の運び出し、ドロ出しなど支援を求めている人々もいます。しかし、被災者の多くが仮設住宅に移り、支援のあり方が変わってきました。



▲ 瓦礫撤去後

顔が見えていた避難所での暮らしは、仮設に移り、プライバシーや生活スタイルが守られ、落ち着く環境はできませんが、一方で、住宅にこもってしまい、心や健康など、確認する機会が減って、重症化してしまう心配もあります。これからは、専門性を持ったボランティアが求められることになり、既に協議会には、スキルを持ったNPOが支援に参加しています。

「向かいやお隣さんに気配りが届くような交流のあるコミュニティが出来るように、微力ながらお手伝いさせていたきたいと思っています。それから全国から、様々な支援を頂いていますので、先日発生した和歌山県での土砂崩れの救援にすぐ行きました。私たちの活動は、石巻だけではありません。天災で被害があれば、駆けつけることも視野に入れているのです。」と協議会代表の伊藤秀樹さん。これまでに例がない、災害時のボランティアの受入れスタイル「石巻モデル」は、きつと威力を発揮するのではないでしょうか。

(社)石巻災害復興支援協議会

〒986-8580

宮城県石巻市南堺字新水戸1番地

石巻専修大学5号館1F

●TEL 0225-98-3691

●FAX 0225-98-3692

●Email ganbappe@gmail.com

●URL

<http://gambappe.ecom-plat.jp/index.php>

被災した子どもたちにもスポーツを

● 石巻スポーツ振興サポートセンター

NPO法人石巻スポーツ振興サポートセンターは平成十四年十二月、「いつでもどこでも、だれとでも」スポーツを楽しむことができる街づくりを目指し設立しました。街づくりは自らが主体性を持って取り組まなければいけないという理念のもと、親子で行うスポーツ大会や、石巻市内をウォーキングしながら食事も堪能するツアー「グルメウォーキング」、また、障がいをもった方たちと海に遊びに行く「わたしを海につれてって」というイベントなど様々な企画を行ってきました。

そんな中、東日本大震災の津波により事務所があった石巻街道沿いの商店街は、船や車や瓦礫がなだれ込み、事務所は天井近くまで浸水、石巻市門脇にあった理事長の自宅は流失するなど大きな被害に遭いました。

●●● わんぱく復興プロジェクト ●●●

多大な被害に遭っていても、現地のNPOとしてドロカキ、瓦礫除去、避難所ネットワークの運営、現地の状況を伝え



▲ 理事長の松村善行さん

▼ わんぱくスマイルプロジェクトから広がる笑顔



「お小遣いをためて買ったおもちゃやスポーツ用品もすべて失った子どもたち。しかし、周りの大変な状況を理解し、わがままは言いません。この喪失感は何とも言いようがありません。そんな、たくさんの我慢をしている子どもたちにせめて、自らの意志で楽しみながらスポーツをして、思う存分身体を動かして欲しい。」松村さんの想いから「わんぱく復興プロジェクト」は始まりました。これまで、被災した児童や生徒に学校を通じてスポーツ用品の提供を行うことを軸として活動し、サッカーボールやドッチボール、Tシャツやシューズなど千点以上を寄贈してきました。

更新など被災に直結したボランティア活動を継続して行ってきました。「私を家を流され避難所で寝るプログラムの更新など被災に直結したボランティア活動を継続して行ってきました。」と理事長の松村善行さん。

るプログラムの更新など被災に直結したボランティア活動を継続して行ってきました。

また、被災した子供たちに体を動かすことの楽しさ、スポーツから生まれる絆を体験してもらい、心と体を癒してもらうため、被災した児童館や避難所でのボール遊びや運動教室を開催する「わんぱくスマイルプロジェクト」も実施しています。中には、元日本代表の宮本恒靖さんなどをゲストとして迎えるサッカー教室もあります。

●●● 被災地石巻復興ウォーキング ●●●

震災前にも行っていたグルメウォーキングを「被災地石巻復興ウォーキング」という形に変え、まちなか復興プロジェクトとして行っています。多くの方に被災地の現状を自分の目で見ていただき、より多くの方に伝えてもらう。そして、昼食は被災した地元の食堂で食べてもらい、復興にも取り組んでもらうという趣旨です。第一回は七月十日に行い、市街地から日

和山、旧北上川河口へと約10kmのコースで行い五十名の方が参加。はるばる北海道からの参加もありました。第二回も十月九日に行う予定で参加費の一部は義捐金として石巻市に寄付をします。



▲ 子どもたちとのサッカー教室

●●● 現地のNPOとつながる ●●●

現在は、石巻市企画部市民協働推進課や、いしのまきNPOセンター、石巻商工会議所と共に、石巻ふるさと復興協議会を設立し、宮城県新しい公共の場づくりのためのモデル事業(災害復興緊急事業)で採択された「仮設住宅におけるコミュニティ形成支援」を行っています。被災者の二次避難から平穏な生活環境を取り戻せるまで継続的にサポートし、自治会を形成する支援も行い、今後は仮設住宅支援のネットワーク作りもしていく予定です。

石巻スポーツ振興サポートセンターは「街づくりは自らが主体性を持って取り組まなければいけない。」この志を軸に、ただもううだけ、あげるだけの支援ではなく、被災地全体の復興につながるプログラムを企画し実行していくことで地元の復興に大きく貢献していきます。「全国や全世界から多くの支援をいただいたことが励みになり、活動の源となっています。多くの方々に支えられ本当に感謝しています。」と松村さんは笑顔でバキスタンから送られてきたサッカーボールを持ち上げながら言いました。

NPO法人
石巻スポーツ振興サポートセンター
〒986-0822 宮城県石巻市中央2丁目10-13
(スポーツショップマツムラ内)
●TEL/0225-95-2923
●FAX/0225-95-2808
●E-mail info@i-support.or.jp
●http://www.i-support.or.jp/

五百人が菖蒲田浜で清掃 海に向かって黙禱

七ヶ浜再生プロジェクト

毎年七月末に行われていた菖蒲田浜・花洲浜地区の花火大会は、本来であれば今年で第二十二回を迎えるはずでした。今年は東日本大震災による津波で大きな被害を受けたこの菖蒲田浜・花洲浜地区。家屋が跡形もなく倒壊、流出し、かつての美しい浜の風景は大きく姿を変えました。人々の心には海に対する恐怖と悲しみが残り、今年には花火大会の開催を断念しました。

しかし、震災から半年たち、日本全国、世界各国のボランティアさんの活動によって、七ヶ浜町は着実に元気を取り戻しています。毎年受け継がれてきていた浜の心意気行事がないことに寂しさを隠しきれない地元の方々の声を聞き、菖蒲田浜・復興まつり実行委員会、七ヶ浜再生プロジェクト実行委員会が地元の方たちと協力し合って、復興の願いを込めて清掃「セレモニー」打ち上げ花火を中心とした「菖蒲田浜復興まつり」を開催するのになりました。

前へ進もう

東北で最古の海水浴場として知られる七ヶ浜町菖蒲田浜で、七月二十三日から毎週土曜と日曜の午前中に行われてきた、海岸清掃ボランティアによる

浜に散らばる漂流物などの清掃活動も、九月十日が最終日となり、約五百人のボランティアが砂浜を清掃しました。

震災直後からボランティアによるがれきの撤去が続けてきましたが、この日は地元住民や全国からのボランティアが砂浜を訪れ、がれきを撤去し、細かいゴミを拾い、震災前の長く続く白い砂浜の再生を目指して作業が進められました。清掃が終わって参加者が集合すると、そこにはきれいな砂浜が現れました。

午後二時から、「前へ進もう」三、一復興「セレモニー」に。津波の被害で砂浜が大きく削られ縮小した菖蒲田浜に



は、復興の願いを込めて全国六十五カ所の海岸から寄せられた砂を参加者みんなでまきました。来年は「今

▼全国の海岸から寄せられた砂をまく

までのように海水浴が楽しめるほどに浜を復興したい」と想いをひとつにしていました。



▲ハマギクの植樹

地震発生と同じ午後二時四十六分には、追悼の鐘が鳴り響き、全員で海に向かって黙とうしました。その後、全国から寄せられた町花の「ハマギク」、約二千株をボランティア全員で手作りの海浜庭園に植え付け、セレモニーを終えました。ハマギクの花言葉は「逆行に立ち向かう」です。

打ち上げ花火に感動

午後四時三十分からは、菖蒲田浜海水浴場駐車場で、「復興まつり」を開催。焼きそばやかき氷、ゲームやヨーヨー・輪投げ・体験ブースなどの出店や歌・踊りのステージを盛り上げたのは、二千人を超える七ヶ浜町出身の住民や菖蒲田浜のひとたち。たくさんの方が来場しました。

お祭り広場で黙とうから始まり、地元の子どもたちによる元気なパーカッション、地元の女性たちのカラオケ大会、地元の和太鼓集団による浜風太鼓など子どもも楽しめる、七ヶ浜町住民が一体となるひとときを過ごしました。最後に打ち上げ花火となり、復興を願う、十七プログラム構成で通年規模よりも

大きな花火が夜空を照らしました。お祭り広場のすぐ隣で打ち上げられた花火は、回りに家も建物も灯りもないことからひととき大きく、音も迫力があり、みんな夜空を見上げて感動していました。

一面瓦礫だった海岸が、砂浜が見えるまでに復旧した姿を仮設住宅で暮らす住民や全国の人に見てもらおうと企画した三・一一復興「セレモニー」と菖蒲田浜復興まつり。愛知県のNGOや仙台のNPOなどが力を合わせた浜再生プロジェクトと、七ヶ浜災害ボランティアセンターが中心となった復興まつり実行委員会の協働による賜物です。



▲にぎわうお祭り広場

問合せ

七ヶ浜再生プロジェクト

- E-mail kizuna@rsy-nagoya.com
- 問合せ/TEL:090-2852-9994 (月~木10:00~15:00)

「つながり」を信じて、多くの人々とのつながり支えられた遺族の心のサポート

仙台グリーンケア研究会
【寄稿】代表 滑川明男さん



▲子どものための「わかちあいの会」

自分自身を語る

わかちあいのワンデイプログラムも、基本的には、同じ理念で行われています。

我々は、大人でも子どもでも深い悲しみを抱えている人々が、普段はなかなか語れない自分自身を語る事が出来る場を提供しています。その場所は、日常生活とは切り離された、非日常の時間であり、特別な場所です。非日常の場で、安心して自分を語って頂きます。自分自身を語る事は、自分の感情に気がつき、自分と亡くなった人の関係性をもう一度見直し、そして、自分に起こってしまった辛い出来事を見つめ直す第一歩になります。その第一歩はとも辛い一

大切な人を亡くされた方は、日常生活の中になかなか人には話す事の出来ない深い悲しみや、自責の念、怒りなど様々な思いをお持ちです。仙台グリーンケア研究会では、そのような心の内面を安心して話し出来る場としてのわかちあいの会を、二〇〇六年から行っています。

最初は、自死遺族のわかちあいの会を行っていましたが、二〇〇九年からは、自死に限らず大切な人を亡くした方にも来て頂けるようになりまし。また、二〇一〇年十二月からは、日本でもまだ行われていないところが少ないと言われる遺児のグリーンフをサポートするプログラム(ワンデイプログラム)を始めています。

スタッフは大人のわかちあい担当が約二〇人、子どもプログラム担当が、七十人以上登録されており、わかちあいとワンデイプログラムを支えています。

▼一歩を踏み出すきっかけに



感情に気がつき、自分と亡くなった人の関係性をもう一度見直し、そして、自分に起こってしまった辛い出来事を見つめ直す第一歩になります。その第一歩はとも辛い一

わかちあいの会

歩ですが、わかちあいでは同じような喪失体験をした仲間と一緒に踏み出す事が出来ます。子どもたちは、同じ参加者の子どもや、大学生などを中心としたファシリテーターのお姉さん、お兄さんと共に、遊んで、その中で信頼関係が生まれた時に、ぼつりぼつりと自分の気持ちを話してくれます。

三・一一の震災後、直後に予定されていたわかちあいとワンデイプログラムは中止させて頂きましたが、五月から再開しました。それまで、二ヶ月に一度行っていたものが、毎月行うこととなり、また、仙台のみならず、南三陸町や石巻市でも、ほぼ、同様の活動を始めました。今後、更に活動の輪を広げ、わかちあいの会が心のサポートプログラムの一つとして、被災地のあちこちに定着する事が目標です。

震災後、遺族のお話しを伺っています。復興へ向けて、日本中が頑張っています。しかし、復興という言葉が納得出来ない人たちがいます。前を向かなきゃ、と思っても、向く事が出来ずにいます。

回復なんてあり得ないと思っっています。大震災で多くの人が亡くなりました。その何倍もの人々が、大切な人を亡くした体験をしてしまいました。亡くなった人は、本当に悔しい事ですが、帰って来てくれません。この事は、どうにもならない事実で、遺族には、その事と直面せざるを得ない

と言う辛い現実が待っています。だからこそ、復興だ、回復だと言わなくても、納得出来ないのです。受け入れるわけには行かないのです。



▲思い思いに描こう

仙台グリーンケア研究会では、これからも大切な人を亡くされた方々の心のサポートを継続的にしていきます。また、震災直後からメールや電話による心の相談も行っております。大切な人を亡くした方々の相談窓口です。

また、我々の活動を支えるスタッフになりたい方も随時募集しております。わかちあいの進行役となるファシリテーター養成講座を受講して頂き、わかちあいに必要な心構えやスキルを学んで頂けます。継続は力なり。

心のサポートは息の長い活動になります。これからも、人々とのつながりを通じて、活動して行きます。

仙台グリーンケア研究会

〒980-8485
宮城県仙台市青葉区中央1-2-3
仙台マークワンセンター19階
【事務局】●TEL/070-5548-2186
●E-mail griefoffice@gmail.com
【心の相談】●TEL/080-3326-5612
●E-mail saigaikokorocare@gmail.com

食から始まる、つながり

● 巨理いちごっこ

三月十一日の発災後から、巨理町で炊き出しボランティアをしていた馬場照子さんは、ボランティア活動中に、一日に十時と十六時の二回



▲ 代表の馬場照子さん

提供される炊き出しでは、食事の栄養の偏りがあるほか、仕事に出かける人にとってはその時間に食べるということができず、家族が食事を取っておくという状況にあるということを目の当たりにしました。電子レンジも使えず、冷え切ったものしか食べることができない状況だったことから、みなさんに温かい食事を食べていただくようという思いから、「巨理いちごっこ」を立ち上げました。（現在、NPO法人申請中）

● 美味しい食事と交流

四月下旬から、活動するメンバーを募集し、支援金や物資の提供依頼を発信。馬場さんは、被災したみなさんへ食事の提供や交流の場を作りたいという構想を巨理町へ相談し、

五月には、町から巨理町蚕業会館（南町コミュニティセンター）を借りることが決まり、コミュニティカフェ・レストラン「巨理いちごっこ」をオープンしました。ここでは、美味しいものを頂くことをきっかけに、地域住民と地域を支えようとしている方が手をたずさえていくための場所を目指しています。食事は、防災証明書を持参した方には無償で、防災証明書のない方にも、ワンコイン五百円以上の「志」で食事を提供しています。食材は、スーパーなどで購入するほか、全国から送られてくる支援物資、地元住民からの差し入れ、などで賄われています。

七月下旬には支援団体からの協力もあり、拠点として巨理小学校の南校門前に移転しました。馬場さんを含め四名でスタートした



▲ 巨理いちごっこ

▼ 販わう屋食時



スタッフも現在は九名になり、お昼時や夕方の混雑する時間帯を効率よく、切り盛りしています。遠く離れている方や足が不自由な方などには、行き帰りの送迎も行っています。

● お話聞き隊

五月の下旬ごろ「いちごっこ」に來られる方は、食事を通して「コミュニケーション」する場所があるけれども、仮設住宅に居している人の中には、外に出かけない、出かけられない人がいらつしやるのではないかと馬場さんは、感じるようになり、被災した方のお話を聞く「いちごっこお話し聞き隊」を始めました。避難所から仮設住宅に移ったことで、以前の近所や地域とのつながり方が変わりました。震災での辛い経験を話せずにいる方や、外に出ることができない方にスタッフが話を聞きに行き、少しでも気持ちの穏やかになり、人との関わりを持つきっかけになるよう、取り組んでいます。これは、コミュニティカフェ・レストランを運営するスタッフとは別に、カウンセリングの研修を受けたスタッフやボランティアの方たちと四名で活動しています。

また九月十七日には、いちごっこ和

やかコンサートも開催し、震災から頑張ってきた住民の方と一緒に、音楽を聞き、一息つく時間を設けました。

「久しぶりに、ゆっくりした中で音楽を聴いたねえ。とても良かったよ。元気をもらいましたと参

加された方も笑顔で話していました。現在、新たに土地を借りて「コミュニティ・レストラン」を建設予定です。ゆくゆくは、カフェ・レストランだけでなく世代間交流の場にしたと考えています。「震災が身近な家族や、人とのつながりの大切さを思い出させてくれました。やはり人とのつながりなんです。いちごっこは、いらつしやっていたら良かった方々も含め、大きな家族になることを目指しています」と馬場さん。これからも、活動を通して地域にたくさんのつながりを結んでいきたいと笑顔で話していました。



▲ 和やかコンサート

巨理いちごっこ

- 〒989-2351
- 宮城県巨理郡巨理町字下小路29-1 (巨理小学校南門前)
- 開放日: 火、木、土、日 11:30~19:00 (10月からは18時オーダーストップ)
- TEL/090-4043-5216(馬場)
- E-mail watari.ichigokko@gmail.com
- URL http://watari.ichigokko.blogspot.com/

NPOのCB(コミュニティ)を応援! Vol.2 短期ショップスペース ~20世紀アーカイブ仙台~

みやぎ
NPOプラザ

このページは、宮城県からの
NPO関連のお知らせです。

▼ 副理事長の佐藤正実さん



こだわりは収集と保存

みやぎNPOプラザには、短期ショップスペースがあります。これは六日以上二ヶ月まで利用できる、これまで、NPOが展開する商品の展示会やバザールなど、催し物を主体に利用されてきました。九月一日からはNPO法人二十世紀アーカイブ仙台(以下、アーカイブ仙台)が新店。今までにない利用方法で短期ショップスペースを活用しました。

伝え、過去のつながりを実感できるようなアーカイブ化(記録資料)して後世に残すことを目的に、二〇〇九年六月に設立。仙台市歴史民俗資料館やメディアアテックなどと連携しながら、上映会や写真展などを開催しています。また、東日本大震災時の画像を市民から募集し、Webサイトにアップロードして市民に公開しています。



▲ 映像を見ながら、思い出を振り返る

家族の記憶を呼び戻す
お手伝い



今回のショップは、昭和時代のセランダイ(映像カメラ)と古い、昭和時代の写真や八ミリフィルムを持ち込みを受付ける場所としています。そこは専用の機械を使って映像を映し出し、持ち込んだ方とゆくり話しながら懐かしい昭和のひとときを思い出す場にもなっています。一日の来訪者は、平均二〜三名ですが、一人当たり二時間くらいじっくりと話を聞きます。持ち込まれた八ミリフィルムから記憶をたどり、家族の記憶の呼び戻しのお手伝いができれば」と、副理事長の佐藤正実さんは語っています。

また、Webサイト(三十一)市民が撮った震災記録に集まった画像や映像を、震災の風化を防いで後世に残すために写真集を発刊する計画が進んでいます。その写真集の製作費を集めるために「むすびあいバンドナ」を販売する「三十一伊達なむすびあいプロジェクト」を行っています。

アーカイブ仙台では、今後もこうした映像や写真の記録を通して、昔の懐かしい仙台の暮らしを伝える事業を展開していく計画です。

●NPO法人二十世紀アーカイブ仙台
TEL:022-211-3877(八五五)
FAX:022-211-3877(〇六五)
http://www.d2.dion.ne.jp/~cliba2
Ohtcas.html

※みやぎNPOプラザでは、NPO取組「コミュニティビジネス」の講座を、十一月九日(水)栗原市、十日(木)大河原町で開催します。詳しくはインフォメーション(ホームページ)をご覧ください。

●●●宮城県からのお知らせ●●●

● NPO法人の設立を新しく申請した団体

(2011年8月11日~9月10日申請分)

団体名	所在地	活動内容	受理日
日本震災福祉支援協会	仙台市宮城野区	震災被害福祉事業所に対するの援助事業等	8/18
キャットミント	仙台市若林区	災害復興・支援事業等	8/24
結いのこころ	松島町	介護保険事業、障害者自立支援事業等	8/24
アイファーム	岩沼市	耕作放棄地を利用した市民農園事業等	8/25
地・LOHAS推進会議	仙台市青葉区	文化芸術活動や第一次産業の活性化支援事業等	9/6
エバーオンワード	仙台市太白区	保健医療福祉活動に係る人材育成支援事業等	9/7

● NPO法人に認証された団体

(2011年8月11日~9月10日まで)

団体名	所在地	活動内容	認証日
日本ライフフィットサービス協会	仙台市若林区	災害救援・支援事業等	8/29
ぐるっと	豊米市	被災者の生活再建支援に関する事業等	9/1
料理寺子屋 一滴	岩沼市	食事作法等を通じた礼儀作法等の伝承	9/5
World Open Heart	仙台市青葉区	社会的弱者や少数者のための人権相談事業等	9/9

宮城県の
NPO法人数

593
団体

2011年9月10日現在数
※解散、所轄庁変更、認証取消、撤回した団体を除く。

宮城県民間非営利活動促進委員会委員募集

県のNPO施策への積極的な提言をいただける方を募集します。

- 応募資格:以下の条件を満たす方
 - ・県内在住又は在勤・在学者で、18歳以上の方。
 - ・県内のボランティア団体や市民活動団体、NPOでの社会貢献活動の経験やNPO等の活動に関心のある方。(県職員を除く)
- 募集人員:2名以内
- 任期:平成23年12月1日からの2年間(委員会は年間3回程度)
- 報酬等:所定の報酬及び旅費を支給
- 募集締切:10月21日(金)17:00まで(必着)

- 申込方法:下記書類を募集期間内に郵送又は持参
 - (1)所定の申込用紙(下記HP又は各市町村NPO担当部署、各地方振興事務所及びその地域事務所の県政情報コーナー)
 - (2)作文(1,200字~2,000字程度 下記の3つの項目全てについて記述様式自由)
 - イ)応募した動機
 - ロ)参加している(参加したことのある、または関心のある)団体の活動の現状や課題等を踏まえたNPOに関する自分の考え・思い
 - ハ)宮城県のNPO施策に関する意見、提案等
- 選考方法:書類審査を通過した方は、面接を行い選考・決定します。
- 面接予定日:11月7日(月)(書類審査を通過した方に案内)

●連絡先:宮城県共同参画社会推進課

〒980-8570 仙台市青葉区本町3-8-1 TEL:022-211-2576 FAX:022-211-2392
http://www.pref.miyagi.jp/kyosha/npo/koubo/koubo.html

●みやぎのNPO・市民活動を支援するWebサイトです。

みやぎNPO情報ネット

http://www.miyagi-npo.gr.jp

みやぎNPOプラザ

〒983-0851
仙台市宮城野区櫛ヶ岡5

TEL:022-256-0505 FAX:022-256-0533

E-mail:npo@miyagi-npo.gr.jp

平成24年度 子ども国際交流活動助成

- 助成対象: 地域に暮らす海外出身の子どもたちと日本の子どもたちの国際交流を促進することを目的とする非営利の事業・活動
- 対象団体: 日本国内に所在地があり、1年以上の活動実績を持つ非営利の民間団体(法人格の有無は不問)
- 助成金額: 10~50万円(1万円単位)
- 助成期間: 平成24年度内に実施・完了する事業
- 募集締切: 10月28日(金) 必着
- 連絡先: 財団法人 日本教育公務員弘済会
子ども国際交流活動助成金係
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-4-6
E-mail: kodomo@nikkyoko.or.jp

ちば元気ファンド 東日本大震災市民活動支援

- 助成対象: (1)復旧支援活動…復旧作業基盤が整うまでの緊急的な活動
(2)生活支援活動…生活基盤や環境を取り戻すための住民と協働した生活支援活動
(3)復興支援活動…街づくり活動…一人ひとりの生活の質を高め、街の再生や活性化をはかるための住民と協働した街づくり活動
- 対象団体: (1)被災地で支援活動をしている市民活動団体
(2)被災者を受け入れている地域で支援活動をしている市民活動団体
※東北3県・千葉県のみならず全国が対象です。
- 助成金額: 1団体上限50万円(総額: 200万円と寄付の合算額)
- 助成期間: 2011年12月~2012年12月に実施される事業
- 募集締切: 10月末日 必着
- 連絡先: 市民ネットワーク千葉県
ちば元気ファンド事務局
〒260-0013 千葉県千葉市中央区中央4-10-11 アイビル6階
TEL: 043-201-1051 FAX: 043-223-6651
E-mail: chiba@ken-net.gr.jp

2011年度 環境保全プロジェクト助成

- 助成対象: ・国内において「自然保護」「環境教育」「リサイクル」等の分野で、実践的活動を行うもの
・継続性・発展性を持つプロジェクトであり、その成果が公益のために貢献するもの
- 対象団体: NPO法人・任意団体として、環境保全活動の実績が2年以上の団体(2011年12月末時点)
- 助成金額: 1プロジェクトにつき上限30万円(総額300万円予定)
- 助成期間: 2011年度中に開始予定のプロジェクト(既に開始されているプロジェクトも可)
- 募集締切: 10月31日(月) 消印有効
- 連絡先: 公益財団法人 損保ジャパン環境財団
〒160-8338 東京都新宿区西新宿1-26-1
TEL: 03-3349-4614 FAX: 03-3348-8140
E-mail: office@sjef.org

第6回 観光資源活用トータルプラン

- 助成対象: 以下の条件にあてはまる、地域の魅力を高めるプラン
・観光資源の広域的結合による相乗効果があること
・継続性・発展性があること
・高速道路等を利用したルートづくりを含むこと
・観光客の増加及び高速道路等の利用増となること
- 対象団体: 地域観光振興及び観光資源の磨き上げに取り組むなど活動実績がある社団法人、財団法人、NPO法人、地方公共団体が出資する法人、その他ふさわしいと認められる団体や前記複数からなる連合体
- 助成金額: 最優秀賞に最高3,000万円(1点)、優秀賞に最高1,000万円(2点程度)(計画実施支援金として支援)
- 助成期間: 平成24年4月~平成27年3月までに実現可能なプラン
- 募集締切: 10月31日(月) 消印有効
- 連絡先: 財団法人 高速道路交流推進財団 企画部
(観光資源活用トータルプラン係)
〒103-0007 東京都中央区日本橋浜町3-42-3住友不動産浜町ビル7階
TEL: 03-5623-1648 FAX: 03-5623-1655

2012年度 日本財団助成事業プログラム

- プログラム: 1)海や船に関する事業 2)社会福祉、教育、文化などの事業
3)障害者就労支援車両の配備 4)青色防犯パトロール用車両の配備
- 対象団体: 日本国内の財団法人、社団法人、社会福祉法人、NPO法

- 人、ボランティア団体など非営利活動・公益事業を行う団体※3)についてはボランティア団体は対象外
- 助成金額: 1)なし(NPO法人※・ボランティア団体は200万円)
※NPO法人については、事業内容によってボランティア団体と同様になる場合があります。
2)なし(ボランティア団体は100万円) 3)500万円 4)130万円
- 助成期間: 1)2)2012年度内に開始・完了する事業
- 募集期間: 10月3日(月)10:00~10月31日(月)17:00
※CANPAN団体登録は2011年10月30日(日)24:00まで
- 連絡先: 日本財団コールセンター
〒107-8404 東京都港区赤坂1-2-2 日本財団ビル
TEL: 03-6229-5111(9:00~18:00 土日・祭日を除く)
E-mail: cc@ps.nippon-foundation.or.jp

公益財団法人トヨタ財団 2011年度地域社会プログラム

- 【地域社会プログラム(本体)】
- 助成対象: 「継ぐ、つくる、つなげる」というプロセス(またはその一部)により、地域の課題の解決に結び付く、日本国内で行われるプロジェクト
- 助成金額: 1件あたり年間300万(総額6,000万円予定)
- 助成期間: 2012年4月1日より1年または2年間
- 募集締切: 10月7日(金)~11月7日(月)
- 【東日本大震災対応「特定課題」】
- 助成対象: ・東日本大震災の被災地・者を対象として、人びとのくらしの再建や、地域社会の再生・構築をめざす活動
・東日本大震災の被災地域、また被災地に居住地のある人びとが現在避難している地域で行われるもの
- 助成金額: 1件あたり上限300万(総額6,000万円予定)
- 助成期間: 2012年4月1日~2013年3月末日までの間
- 募集締切: 10月7日(金)~11月30日(水)
- 【共通事項】
- 連絡先: 公益財団法人トヨタ財団
〒163-0437 東京都新宿区西新宿2丁目1番1号新宿三井ビル3階私書箱236号
TEL: 03-3344-1701 FAX: 03-3342-6911

平成24年度 キリン・子育て公募助成

- 助成対象: ・地域における子育てに関わるボランティア活動
※「子育て」については、「子育て」「親育て」「親育ち」を含む広い意味での活動
- 対象団体: 4人以上のメンバーが活動する団体・グループ(NPO法人格の有無、活動年数は不問)
- 助成金額: 1団体あたり上限30万円(総額4,000万円)
- 助成期間: 平成24年度内に実施するもの
- 募集締切: 11月13日(日) 消印有効
- 連絡先: 公益財団法人 キリン福祉財団
平成24年度キリン・子育て公募助成事業事務局
〒104-8288 東京都中央区新川2-10-1 キリン本社ビル
TEL: 03-5540-3522 FAX: 03-5540-3525
E-mail: fukushizaidan@kirin.co.jp

平成24年度 美術に関する国際交流の助成

- 助成対象: (A)海外での美術展(個展・グループ展等)
(B)国内開催の国際会議・交流活動(シンポジウム・セミナー等)
- 助成金額: 1件あたり200万円以内(12件程度)
- 助成期間: 平成24年度内に開催されるもの
- 募集締切: 11月14日(月) 必着
- 連絡先: 公益財団法人 ポーラ美術振興財団
〒141-8523 東京都品川区西五反田2-2-3
TEL: 03-3494-8237 FAX: 03-3493-6293
E-mail: info@pola-art-foundation.jp

2012年度 がん患者助成

- 助成対象: がん患者会やがん患者を支援する団体などが主体となって取り組む優れた事業(相談窓口の開設や小冊子の発行、シンポジウムの開催、インターネットによる情報発信といった、企画運営など)
- 対象団体: がん患者会、がん患者やその家族を支援するグループなど法人格の有無は不問
- 助成金額: 1件(1団体)あたり上限50万円
- 助成期間: 2012年4月~12月末までに実施される事業
※長期計画が必要と認められる場合には、3年を上限として継続助成することもあり
- 募集締切: 11月18日(金) 必着
- 連絡先: 公益財団法人 正力厚生会
〒104-8243 東京都中央区銀座6-17-1(読売新聞東京本社11階)
TEL: 03-3216-7122 FAX: 03-3216-8668

- 講 師: 田村孝行氏
(北山ガイドボランティア・マナビサポ20登録講師)
- お琴演奏: 曾根美登利氏
(生田流琴師範・マナビサポ20会員・登録講師)
- 内 容: (1)講座 (2)お琴演奏 (3)史跡ガイド※希望者のみ
- 対 象: どなたでも参加できます
- 定 員: 50名(先着順)
- 参 加 費: 500円(教材資料代・寺社謝礼費として)
- 申込方法: 郵便番号・住所・氏名・年齢・電話番号を記入の上「往復はがき」で事務局まで申込
- 申込締切: 10月10日(月) 必着
- 主 催: 北山ガイドボランティア/(特活)マナビサポ20
- 連絡先: 北山ガイドボランティア(担当: 吾妻)
〒981-0967 仙台市青葉区山手町8-14
TEL: 022-279-2053

11/3 介護すまいる文化祭

宮城県内には、介護に関するさまざまな活動を行っている数多くの団体・企業があります。介護すまいる文化祭は、そうした団体・企業が連携・協力し、1つの場で各々の得意分野を終結させ、活動紹介・セミナー・各種相談を行います。

- 日 時: 11月3日(木) 10:00~17:00
- 場 所: 三幸福社カレッジ仙台校
(仙台市青葉区中央1-6-18 日石仙台ビル6階)
- 内 容: ★セミナー&講演会
(1)介護セミナー「介護が突然必要になったら…」
講演者: 白石美恵氏(仙台市南光台地域包括支援センター所長)
(2)講演会「震災と介護・津波からの生還とその後(仮題)」
講演者: 鈴木信宏氏(赤井江マリンホーム事務長)
(3)心理サポート研修講座「心に寄り添うシェアリング法」
講師: 品川博二氏(日本ケア・カウンセリング協会代表理事)
★参加団体による展示・活動紹介ブース
★みんなの広場
ゆったりくつろぎコーナー。介護に関する情報を交換したりおしゃべりしながら、ネットワークづくりに!
- 参加費: 無料
- 主催: 介護すまいる文化祭実行委員会
- 連絡先: TEL: 090-6689-1422(担当: 本村)
E-mail: tomtom7081@yahoo.co.jp



●情報をお待ちしています●

- 申込方法: 問合せ先を明記の上(初めてご利用いただく団体は団体概要も添付)、FAX・e-mail、郵送にてお寄せ下さい。★掲載は無料です★
- 締切: 毎月15日(翌月10日以降開張・締切となる情報を掲載します)
- 臨面の都合で掲載できない場合があります。○お問合せは事務局まで。※申込みいただいた情報は「みやぎNPO情報ネット」にも提供いたします。

NPO法人社の伝言板ゆるる
〒983-0852 仙台市宮城野区楡岡3-11-6 コーポラス島田B6
TEL: 022-791-9323 FAX: 022-791-9327
e-mail: npo@yururu.com

11/5 マザーアースコンサートVol.5 Hope ~希望~

親子の愛情・絆をテーマにしたラパート・マンチ作「ラブ・ユー・フォーエバー」を脚本化した朗読と仙台在住の比嘉ひろ音のオリジナルの歌とのコラボレーションです。
※今回は東日本大震災・津波遺児支援として、収益金はあしなが育英会に寄付させていただきます。

- 日 時: 11月5日(土) 18:30~
- 場 所: 仙台市被災復興記念館 記念ホール
- 参加費: 【一般参加者】前売り3,000円/当日3,500円
(ペア券)前売り5,500円/当日6,500円
【被災者の方】
無料で招待します。(定員100名、証明書は要りません。)
- 託 児: あり
- 申込方法: 下記連絡先まで申込。入金確認後、チケットを郵送します。
※被災された方については、申込時にお伝えください。
- 主 催: マザーアースコンサート実行委員会
- 連絡先: 〒989-3126 仙台市青葉区常合1-17-45 宮内歯科医院内
TEL: 022-392-5515 FAX: 022-392-5657
E-mail: info@miyauchi-dental.com
URL: http://motherearth.hirone-higa/

11/9 NPOのための出前マネジメント講座 NPOで取り組むコミュニティビジネス

団体の活動にコミュニティビジネスを取り入れたいと考えているNPO・市民活動団体のみなさん! コミュニティビジネス支援の達人が、そのイロハから実践まで、事例満載でお届けいたします!

- 【inくりはら】
- 日 時: 11月9日(水) 18:30~20:30
- 場 所: 栗原市市民活動支援センター 大会議室
- 共 催: 栗原市
- 協 力: (特活)Azuma-re
- 【in仙南】
- 日 時: 11月10日(木) 14:00~16:00
- 場 所: 大河原合同庁舎 201会議室
- 【共通事項】
- 講 師: 大滝聡氏((特活)都岐沙羅パートナーズセンター理事)
齋藤主税氏((特活)都岐沙羅パートナーズセンター理事・事務局長)
- 対 象: コミュニティビジネスを始めようと考えているNPO・市民活動団体のメンバー等
- 定 員: 各20名(申込先着順)
- 参加費: 各500円
- 主 催: 宮城県(みやぎNPOプラザ)
- 協 力: (特活)都岐沙羅パートナーズセンター
- 連絡先: みやぎNPOプラザ(連絡先はP8をご覧ください)

みやぎのNPO・市民活動を支援するWebサイト
「みやぎNPO情報ネット」

<http://www.miyagi-npo.gr.jp>



NPO法人社の伝言板ゆるるが宮城県と協働で運用する、みやぎのNPO・市民活動を支援するWebサイトです。ボランティアやスタッフの募集、講座・イベントのお知らせ、助成金・行政情報など、市民活動・NPOに役立つ情報が満載です。
問い合わせは、info@miyagi-npo.gr.jp まで

10/16 健康的に歩いて巡る歴史散策 「仙台三十三観音堂巡り」

仙台の三十三観音は全て市内の交通の便の良い所にあるにもかかわらず、あまり存在を知られていません。「杜の都・仙台」を歩き、今まで見えなかった街の顔や自然を発見し、歴史ある伊達街仙台の認識を深めましょう。

- 内 容:★第一行程(1番～11番札所)
「四季折々の表情を持つ亀岡・八幡・新坂・東照宮・本町第一行程地域」
◎日時:10月16日(日) 9:00～(集合8:45)
◎集合:宮城県美術館駐車場前
- ★第二行程(12番～25番札所)
「新寺・木ノ下札所が多く12番札所から25番札所の第二行程地域」
◎日時:2012年4月22日(日) 9:00～(集合8:45)
◎集合:みやぎNPOプラザ前
- ★第三行程(26番～33番札所)
「四郎丸・六郷・33番目札所向山までは歩く行程が最も長い26番札所から33番札所の第三行程地域」
◎日時:2012年5月6日(日) 9:00～(集合8:45)
◎集合:落合観音堂境内(四郎丸)
- 持 ち 物:おにぎり持参で歩きやすい服装
- 定 員:50名
- 参 加 費:各2,500円(レジャー保険料、小冊子含む)
楽遊ネットワーク宮城会員は2,000円
- 申込方法:所定の申込用紙に希望の参加コースを記入の上、FAX、電話、メールにて申込
- 主 催:(特活)楽遊ネットワーク宮城
- 連 絡 先:〒980-0014 仙台市青葉区本町1-11-14
ハニックス2ビル5F
TEL:022-261-9869 FAX:022-261-0546
E-mail:eikaiwa.usaclub@dream.ocn.ne.jp
URL:http://www.eikaiwa-usaclub.jp/rakuyuu.html

10/19 市民のための印刷物デザイン講座

NPOや市民活動団体の広報に印刷媒体での情報発信は欠かせません。しっかり分かりやすく、親しみやすく伝えるためのデザイン・レイアウトを基礎から学んでみませんか。

- 日 時:10月19日(水) 19:00～20:30
- 場 所:仙台市市民活動サポートセンター 研修室2
- 講 師:真山正太氏(グラフィックデザイナー)
- 定 員:15名(事前申込み、先着順)
- 参 加 費:1,000円
- 主 催:NPOメディアデザインサポート
- 連 絡 先:事務局(担当:千葉)
〒980-0801 仙台市青葉区木町通1-11
朝日プラザ北一番丁1階
TEL:090-3049-0613 FAX:022-224-5308
E-mail:npo@md-sendai.com

10/21 3.11後の「豊かさ」について考えるタウン ミーティング えこはびカフェ 4th.～あなたは 豊かさをどんなものさしで測りますか?～

11月19日に開催する、ドキュメンタリー映画「幸せの経

済学」仙台上映会のプレ企画として開催します。フリートークでは、震災体験や家族との絆のことなど、心に留め置いていることを垣根なく話し、想いを共有し、これからの日常と幸せについて考える時間にしたいと思います。

- 日 時:10月21日(金) 18:30～20:30
- 場 所:青葉区中央市民センター 第3会議室
(仙台市青葉区一番町2-1-4)
- 内 容:★「幸せの経済学」予告編動画と「懐かしい未来」の中の「地域から始まる未来:グローバル経済を超えて」DVDの上映
★「幸せ」をテーマとしたフリートーク
- 定 員:20名
- 参 加 費:無料
- 申込方法:名前、連絡先(携帯電話番号、メールアドレス)、を明記の上、電話、メールにて申込
- 主 催:せんだい・みやぎ「幸せの経済学」
上映実行委員会(通称:えこはび)
- 連 絡 先:TEL:070-6629-3956 (担当:ナルサワ)
E-mail:sendai.ecohapi@gmail.com
URL:http://ecohapi.blog.fc2.com/
- ★一緒に活動して頂けるメンバーも募集しています!
詳細は上記連絡先までお問い合わせください。

10/22 ジェンダー論講座 「歴史のなかの女性と政治～ 浅井三姉妹と伊達家妻女を中心に」

今年の大河ドラマでも取り上げられ話題となっている「江(ごう)」とその姉妹たち。政治が男性のものとなり、女性の排除が進行した時代としてイメージされがちですが、この時代にあっても、女性は政治と無縁の存在ではありませんでした。徳川將軍家御台所となった江(ごう)を中心に、女性の縁で結ばれる政治の世界をひもときます。

- 日 時:10月22日(土) 13:30～15:30
- 場 所:エル・パーク仙台 セミナーホール
(141ビル【仙台三越定禅寺通り館】5階)
- 講 師:菊池慶子氏(東北学院大学文学部歴史学科教授)
- 定 員:50名(参加申込先着順)
- 参 加 費:500円(当日会場でお支払いください)
- 申 込:事務局に電話またはFAXで
- 託 児:6ヶ月以上小学1年生まで・先着順
- 託児利用料:子ども1人300円
※しょうがいのあるお子さんや上のお子さんについてもご相談ください。
- 主 催:(財)せんだい男女共同参画財団
- 連 絡 先:仙台市男女共同参画推進センター
エル・ソーラ仙台管理事業係
TEL:022-268-8044 FAX:022-268-8045
URL:http://www.sendai-l.jp

10/22 秋の日の、北山の歴史講座とお琴の集い 「仙台藩の埋もれた遺臣たち」(1) ～北山・東昌寺の墓碑から探る～

- 日 時:10月22日(土) 10:00～14:00
- 場 所:仙台市柏木市民センター
会議室(仙台市青葉区柏木3-3-1)

- 場 所: MELON事務局(仙台市青葉区柏木1-2-45
フォレスト仙台ビル5階)
- 持 ち 物: 布(着古した洋服(特に厚手の洋服がお勧め)、
古布、大きめの端切れ)、装飾用品(レース、ボタン
など)、裁縫用品、タンブラーまたはマイカップ
- 定 員: 10名(先着順)
- 参 加 費: 300円
- 申込方法: 下記連絡先まで、(1)日程、(2)氏名、(3)連絡先
を伝えて申込み
- 主 催: (財)みやぎ・環境とくらし・ネットワーク(MELON)
- 連 絡 先: TEL:022-276-5118 FAX:022-219-5713
URL: <http://www.melon.or.jp/melon/>

10/15 大切な人を亡くした方の わかちあいの会 in 仙台

【わかちあいの会(大人向けのプログラム)】
ご遺族同士が今の気持ちや困ったことなどをお話する
プログラムです。ご遺族同士だからこそ分かりあえる気
持ちなどを話すことができます。

- 日 時: 10月15日(土) 14:00~16:30
- 対 象: 大切な人を亡くされた方(死因は問いません)

【子どものためのワンディプログラム】
大切な人をなくした子ども達が集まって、お話しやゲー
ムをして楽しい時間をすごします。きっと同じ気持ちを
わかちあえるお友達と出会えると思います。

- 日 時: 10月15日(土) 13:00~16:30
- 対 象: 親やきょうだい、大切な人を亡くした幼児~小中学生

【共通事項】

- 場 所: 仙台青葉学院短期大学(仙台市若林区五橋3-5-75)
- 参 加 費: 無料
- 主 催: 仙台グリーンケア研究会
- 連 絡 先: TEL:080-3326-5612 FAX:022-369-8012
E-mail: griefoffice@gmail.com

10/16 DVD上映会 アフガニスタン永久支援のために ~中村哲 次世代へのプロジェクト~

大洪水や干ばつ、混迷する政治情勢の中で、人々の生命を
守り1984年から現在まで約30年間にわたり、アフガニ
スタン支援に取り組んできた中村哲医師が、これからの活動
の在り方について私達に語りかけるDVDの上映会です。

- 日 時: 10月16日(日) 10:00~12:00
- 場 所: 仙台市市民活動サポートセンター3階 研修室2
- 参 加 費: 無料(事前申し込み不要)
- 主 催: ペンチャール会をみやぎから応援する会
- 連 絡 先: (担当:佐藤) TEL:080-6055-2366

10/16 布ナプフェスタ2011 ~これからの私たちに今できること~

布ナプキンがこれからできること、つたえたいこと。震災
を通して感じたこと考えさせられたこと。今、私たちが伝
えていかなければいけないこと、わかちあいませんか？

- 日 時: 10月16日(日) 11:00~15:00

- 場 所: 青年文化センター 交流ホール
- 内 容: ★布ナプキンの展示即売
★ワークショップ「重曹生活のススメ」
講師: 岩尾明子氏(環境NGO クリーン・プ
ラネット・プロジェクト代表)
★チャレンジ月経血コントロール
★布ナプキンの使い方・洗い方講座
★赤ちゃんヨガ・ベビーマッサージ ほか
※プログラムの詳細はHPかチラシをご覧ください。
- 主 催: NPO布ナプ普及協会
- 連 絡 先: 〒981-3106 仙台市泉区歩坂町67-25
TEL/FAX: 022-374-2488
E-mail: napu2@napu2.com
URL: <http://napu2.com>

10/16 2011年障害者友情列車 宮城ひまわり号 ・松島町マリニピア松島(水族館)見学の旅

- 日 時: 10月16日(日) 7:00に仙台駅西口に集合
- 場 所: (目的地)松島町マリニピア松島(水族館)
- 交通手段: 貸切列車(仙石線あおば通り駅乗車、本塩釜駅乗車可)
- 定 員: 200名(障害者50名程度)
※定員を超えた場合抽選
- 参 加 費: 大人3,000円/学生(中学生以上)2,700円
障害者(中学生以上)2,500円
※付添(1名まで)2,500円
子ども1,800円/障害児1,500円/幼児500円
- 申込方法: 下記連絡先までご連絡ください
- 主 催: ひまわり号を走らせる宮城実行委員会
- 連 絡 先: 〒984-0051 仙台市若林区新寺5-6-6-202 鷺見方
TEL:022-297-1751 FAX:022-297-3971
携帯:090-9740-7799 (鷺見(すみ))

10/16 シンポジウム 「支援者が語る~被災地の女性たち~」

東日本大震災から6ヶ月。復興に向け歩み出していますが、
生活再建に向けた現実、特に女性を取り巻く現実はい
さまざな困難の中にあります。そこで、支援にあたっ
てきた方々から状況を聞き、今後どのような支援が必要
なのか考えます。また、支援者に対する支援についても
考えていきます。

- 日 時: 10月16日(日) 13:30~16:00
- 場 所: エル・パーク仙台 セミナーホール
(141ビル(仙台三越定禅寺通り館)5F)
- パネリスト: 関さき子氏(仙台市高砂市民センター事業職員)
豊福明子氏(仙台市若林区保健福祉セン
ター家庭健康課母子保健係長、保険師)
渡邊和恵氏(東松島市赤井市民センター事務次長)
三浦徳美氏(登米市米山総合支所市民課課
長補佐兼市民係長)
- コーディネーター: 宗片恵美子氏
(特活)イコールネット仙台代表理事)
- 参 加 費: 500円
- 託 児: 300円(子ども1人1回)
※6ヶ月以上小学校1年生まで
※託児希望者は、10月2日(日)までに下記連絡先まで申込
- 申込方法: 下記連絡先まで申込
- 申込締切: 10月14日(金)
- 主 催: (特活)イコールネット仙台
- 連 絡 先: (担当:綱島) TEL:090-1375-2871

10/10 あきの、おやこで いご!

参加者どうして碁を打ったり、交流したりして楽しく過ごします。碁を覚えたい人にはスタッフがご教えますので、すぐに碁が打てるようになります。毎回ご参加の方にはプレゼントがあります!

- 日 時:10月10日(月) 13:20~15:30
- 場 所:エル・パーク仙台 こどもの部屋
(仙台市青葉区一番町4-11-1 三越定禅寺通り館5階)
- 対 象:碁をおぼえたい人や碁を楽しみたい人
- 参加費:無料(1人だけの参加もOK!)
- 参加申込:当日申込も可能ですが、できるだけ事前申込をお願いします。
- 主 催:碁ランティア
- 連絡先:(担当:菊川) TEL:090-2888-8463
E-mail:kiku714@softbank.ne.jp

10/13 宮城県自閉症協会 「お茶しませんか」のご案内

今年度の茶話会では、各回アドバイザーを呼んで専門家の意見を混ぜてみました。お顔を知って、話を聞いてもらって、意見を聞いて、損はありませんぞ! みんなでワイワイおしゃべりしましょう!

- 日 時:★第3回 10月13日(木)
「学校のことなら赤間先生!先生と仲良くなれる秘訣とは?」
アドバイザー:赤間宏氏(仙台市教育委員会)
- ★第4回 11月15日(火)
「子育ては、子どもの障害を受け入れてからが勝負!~なにを大事に日々生活していくか、松岡さんから助けてもらえるものは大きい!」
アドバイザー:松岡幸枝氏(幼児期応援団)
各回とも 10:00~11:45
※第5回は2月開催予定
- 場 所:仙台福祉プラザ 第3研修室
- 参加費:一般500円 会員無料
- 主 催:宮城県自閉症協会
- 連絡先:〒984-0816 仙台市若林区河原町2-2-3 南材ホーム
TEL:080-3328-3802
E-mail:miyagiken.jiheishokuyokai@sofutobank.ne.jp(携帯)
m_autism@yahoo.co.jp(PC)
URL:http://blog.canpan.info/miyagi

10/13 11/17 12/8 健康教室のご案内

さわやかな汗を流してみませんか!
みなさんのご入会お待ちしております。

- 日 時:10月13日(木)、11月17日(木)、12月8日(木)
各回10:00~12:00
- 場 所:仙台市福祉プラザ1階
プラザホール(仙台市青葉区五橋2-12-2)
※10月13日は野草園で実施
- 講 師:斎藤禎子氏
- 内 容:★ストレッチ体操
★太極拳入門・初級
- 会 費:3,000円

- 主 催:(特活)でんでん宮城いきいきネットワーク
- 連絡先:TEL:022-712-4986(9:00~17:30)

10/14 第2回市民交流サロン 「広瀬川と魚たち」

- 日 時:10月14日(金) 18:00~20:00(17:30開場)
- 場 所:仙台市市民活動サポートセンター4階 研修室
(仙台市青葉区一番町4-1-3)
- 講 師:高取知男氏(仙台科学館 社会教育指導員)
- 参加費:500円
- 定 員:先着30名
- 申込方法:メール、FAXにて申込
- 主 催:広瀬川市民会議・仙台市
- 連絡先:仙台市青葉区一番町4-1-3
仙台市市民活動サポートセンター
レターケースNo.159
TEL:022-214-5512 FAX022-268-4042
E-mail:hirosegawa_shiminkaigi@yahoo.co.jp

10/15 ▶ 10/16 大震災復興支援!アート・インクルージョンながまち2011

年齢・性別・国籍・障害などの有無にかかわらず、多くの人が仙台長町を舞台に交流し、楽しみながら「人にやさしい街づくり」を目指すバリアフリーな音楽とアートのイベントです。

- 日 時:【音楽祭】10月15日(土) 10:00~21:00
【美術祭】10月16日(日) 11:00~18:00
- 場 所:仙台市太白区長町内の下記施設
長町駅前広場、あすと長町仮設住宅集会所・広場、レストラン長町遊楽庵びすたへり、たいはくる、ララガーデン長町
- 内 容:★復興支援コンサート
宮城県内の合唱団によるチャリティコンサート
★Aiそろこん!
小中高3部門からなるこどものための独唱コンテスト
★デイリリーアートサーカス2011
トラックにいろんなアート作品をつめこんだ、楽しいアートサーカス!
★アートボン計画_西多賀
筋ジストロフィー患者の方が描く詩や絵を展示します。
※その他にも各会場でイベントを開催します。
詳しくは下記ホームページからご覧になれます。
- 主 催:アート・インクルージョン実行委員会/
(特活)ほっぷの森/一般社団法人MMIX Lab
(ミミックスラボ)
- 連絡先:アート・インクルージョン実行委員会
TEL:090-2956-2946
E-mail:office@art-in.org URL:http://art-in.org/

10/15 古着をリメイク! お花のブローチづくり

着古した洋服、古布、端切れ、レース、ボタンでお花のブローチを作ります。好きな色、好きな素材で自分好みにリメイクしましょう。

- 日 時:10月15日(土) 13:30~14:30



事業案内



火曜 金曜 奨学金・個別指導つき学習スペース (利用者募集)

お子様のペースで自由にご利用いただける、奨学金・個別指導つき学習スペースです。教員志望の大学生などが学習をサポートします。お子さまの学習補助に、新しいお友達づくりに、どうぞお気軽にご利用ください。

- 開設時間:火曜～金曜 16:00～20:00
※日程の詳細は下記連絡先までお問い合わせください。
- 場 所:みやぎNPOプラザ内
- 対 象:・小学4年生～中学生
・東日本大震災で被災したご家庭(行政の借り上げ住宅、もしくは仮設住宅にお住まいの方)
・経済的に余裕のないご家庭
※上記以外の方も気軽にお問い合わせください。
- 定 員:先着20人
- 費 用:開始月無料
(次月以降は、一定条件に該当すれば5,000円/月)
- 申込方法:電話、もしくはメールにて申込
- 主 催:NPOアスイク
- 連絡先:〒980-0811 仙台市青葉区一番町4-1-3
仙台市民活動サポートセンター
レターケース84番
TEL:090-4554-9988(担当:大橋)
E-mail:asuiku0328@gmail.com
URL:http://asuiku.sendai-net.com/

「わらべっこ」出張託児

育児の負担で苦労しているお母さん方が、各種団体のイベントに安心して参加できることを願って、「わらべっこ」の託児サービスを拡大します。子育て世代が安心してイベントに参加できるように利用してみませんか！

- 開 設 日:お盆、年末年始以外の毎日 9:00～17:00
※上記の時間外と土、日、祝日は「時間外」扱いとなります。
- 対象年齢:生後6か月から未就学児(小学生は要相談、3年生まで)
- 派遣スタッフ:最低2名のスタッフを派遣します。
- 利 用 料:託児スタッフ1人1時間当たり800円
時間外はスタッフ1人1時間当たり1,000円
- 申込方法:下記連絡先まで、託児日の2週間前までに予約してください。

ありがとうございます!!

今月の新入会員・継続会員 (2011.9.16現在) 敬称略

- 正会員38名
- ★山元町 特定非営利活動法人里山ひろば
- 賛助会員21名
- ★仙台市 福田陽一
- 情報会員75名
- ★仙台市 阿部幸一
共育を考える会
太白区社会福祉協議会

- 寄付
- ★とみやまちづくり創生機構

会員募集

会員種類	年会費
個人正会員	10,000円
NPO正会員	10,000円
法人正会員	20,000円
個人NPO賛助会員	5,000円
法人賛助会員	30,000円
情報会員	3,000円

郵便口座番号 02250-0-43800
振替口座 加入者名 特定非営利活動法人 社の伝言板ゆるる (会員申込みの方は、通信欄に会員の種類をご記入下さい)

※万が一に備え、損害賠償責任保険や児童の傷害保険に加入しております。

- 主 催:(社)仙台市シルバー人材センター
子育て支援「わらべっこ」
- 連絡先:託児室「わらべっこ」
〒980-0021 仙台市青葉区中央2-7-10 角川ビル4階
TEL/FAX:022-265-6321 携帯:080-1653-1738



電話相談



女性のための連絡先

女性による起業、企業再建、災害や暴力など思わぬ困難からの復興を願う女性を支援します！

- 連絡先:TEL/FAX:022-233-2434
- 主 催:みやぎジョネット
- 後 援:(特活)ハーティ仙台
- 連絡先:みやぎジョネット 事務局
〒981-0911 仙台市青葉区台原5-13-23
レジデンス台原1階
E-mail:miyagi.jonet@gmail.com
URL:http://miyagi-jonet.blogspot.com/
ブログ:http://miyagi-jonet.blogspot.com



イベント



10/10 月 テーブルゲームであそぼう5

日本やドイツ、フランスのボードゲームやカードゲームで遊びます。ご家族連れ、お友達同士、カップルでも楽しめます。

※ボランティアも募集しています。詳しくは下記連絡先までお問い合わせください。

- 日 時:10月10日(月) 13:00～16:00
- 場 所:仙台国際センター 交流コーナー研修室A
- 主 催:こりれいず(もうひとつのこどもとおとなリレーションズ)
- 連絡先:TEL:070-5470-6355(17:00～22:00)
E-mail:korireizu@willcom.com

社の伝言板ゆるるは、地域の課題を解決するために活動するNPOの継続的運営やそれに参加するボランティアの育成を支援している団体です。特に1997年に創刊した月刊ゆるるは、市民活動やボランティアをしたい市民、それを応援したい企業、行政、そしてNPOをつなぐ情報誌として広く活用されています。これからもNPOや参加する市民にとって役立つ情報を発信し、地域の生活環境が向上するように活動していきますので、ぜひ、私たちの会員となって応援してください!!

■会員には毎月「月刊ゆるる」が届きます
※正会員以外は、総会での議決権がありません

information

9月15日までにゆるる編集部へ届いた情報です。
詳細は各情報の連絡先にお問い合わせください。

ボランティア募集

隔週土日 間伐材ステーション仙台茂庭 ボランティアスタッフ募集

ただ捨てるだけの間伐材や支障木を薪などの資源として有効活用することにより、森林整備の促進・森の循環の復活につながります。新しく始動する「間伐材ステーション仙台茂庭」で活動をお手伝いしてくれる方を探しています。

- 活動日時:隔週土曜・日曜日 9:00~15:00
※雨天中止
- 活動内容:1)隔週日曜日に実施する「樹を使った体験会」の企画および運営スタッフ
(特に薪を燃やして作る美味しいレシピの企画&準備)
2)隔週土曜日に実施する定例活動(薪作り)の作業スタッフ
- 活動場所:間伐材ステーション仙台茂庭(仙台市太白区茂庭字松場6-12)を拠点に、委託山林(仙台市周辺)
- 持ち物:着替え、長靴、手袋、昼食、動きやすい服装でお越しください。
- 対象:経験、年齢、性別不問。未経験者大歓迎
- 申込方法:所定の申込用紙を記入の上、FAX、郵送、メールにて申込。下記HPからの申込も可能です。
※事前に電話連絡を頂き、活動日に直接お越しただいても受け付けます。
- 主催:(特活)フォレストサイクル元樹
- 連絡先:〒987-2308 栗原市一迫真坂高橋2-4
TEL:090-9631-1610 FAX:0228-52-4335
E-mail:npo@fs-genki.com
URL:http://www.fs-genki.com

随時 生活支援サポートスタッフ ・サロンボランティア募集!!

あおばサポートは「暮らしをもっと快適に」の理念に基づき、会員同士の支え合い活動を始めました。利用者のご家族に代わって、サポーターがより快適な暮らしを提供します。

- 活動日時:随時(利用者の方から依頼が入り次第の業務)
10:00~17:00の間(1~3時間程度)
※登録制のボランティアになりますので、都合に合わせて活動していただけます
- 活動場所:仙台市青葉区内
※東照宮、小松島、南光台、台原周辺地域がメイン
- 活動内容:★生活支援サポーター
家事代行、買い物代行、付き添いなどのサポート
★サロンスタッフ
事務所内併設のサロンでの利用者の方への対応、電話・窓口対応

●対象:空いている時間を利用したい方、人のため役に立ちたいとお考えの方、資格を活かしたい方など。仕事を辞めてからブランクがある方でも大丈夫です。

- 定員:なし
- 参加費:無料
- 報酬:(生活支援サポーター)800円~
- 託児:なし
- 申込方法:まずはお気軽にお問合せ下さい。
※電話は平日10:00~16:00、メールは24時間OKです。
- 申込締切:なし(随時募集)
- 募集主体:NPO地域生活支援 あおばサポート
- 連絡先:〒980-0908 仙台市青葉区東照宮1-13-35-102
TEL:022-342-8644
FAX:022-342-8644
E-mail:aoba-support@bb.emobile.jp
URL:http://aobasupport.blog.fc2.com/

有給スタッフ

職員募集 (特活)やまぼうし 管理者候補募集

やまぼうしでは、「夢をあきらめない」長寿社会を構築するために、介護事業・サロン事業等を行っています。今回、以下の内容でスタッフを募集します。

- 職種:管理者候補
- 業務内容:1)当法人運営の介護保険事業および自主事業の業務実施と管理
2)他の関連事業所等との連絡・調整
3)その他事業実施に必要な業務
4)書類作成、パソコン入力、物品管理
- 雇用形態:正職員
- 勤務先:岩沼市
- 応募条件:1)専門学校卒業以上
2)介護・看護の実務経験のある方
3)看護師若しくは介護福祉士等の資格を有する方
4)普通自動車免許
- 待遇:当法人規定による
1)基本給 100,000/月~125,000/月
2)職務手当 10,000/月~20,000/月
3)管理手当 10,000/月~50,000/月
1)+2)+3)=120,000/月~195,000/月
- 勤務時間:8:30~17:15(週休2日、シフト表による)残業なし
- 応募方法:市販の履歴書(写真貼付)、職務履歴書、免許証等の写し
- 募集団体:(特活)やまぼうし
- 連絡先:法人事業所(理事長:渡部)
〒989-2383 亶理郡亶理町逢隈田沢字堰下196-1
TEL:0223-23-2672 FAX:0223-23-2673
E-mail:yamaboushi@bz01.plala.or.jp

11/19
土

みやぎNPOプラザ開館10周年 NPOフォーラム 開催!

みやぎNPOプラザは、今年で開館10周年を迎えたことを機に、NPOのこれまでの歩みを振り返り、NPOの未来を考える「みやぎNPOプラザ開館10周年事業」を行います。
「NPOってどんなことをしているの?」という方から、NPOに精通している方まで、誰でも気軽に参加できるプログラムを企画しています。

ぜひ、ご参加ください!!

日 時

11月19日(土)10:30~19:00

NPOに興味のある方、
必見です!

会 場

みやぎNPOプラザ全館

開催内容

- ソーシャルビジネス塾成果発表会 ● 3.11NPOはどう動いたか~実践団体報告
- パネルトーク「NPO~これまでの10年、これからの10年」
- NPO法人創る村(東松島市)からの歌のプレゼント

交流会

- プラザを拠点に活動を続けてきたNPOがセミナーやワークショップを開催

ICTスクールみやぎ「パソコンで生活をもっと楽しく」 ~パソコンをもっと生活に活用してみませんか?~

一歩進みたい
初心者向け講座

「思った情報が探せない」「デジタル写真はどう整理したらいいの?」そんな経験はありませんか?
インターネットを活用した情報収集を行い、その場に行かなくても情報を得ることを体験! 便利なソフトを紹介しインターネットから無料取得します。デジタル写真の知っているようで知らない基本から、整理と加工について学びます。
加工できた写真等をパソコンメールに添付して送ってみませんか? 親切丁寧な指導を受けながらパソコンを活用しましょう!



連続3週開催

【全ての日程】

10:00~16:00(5時間)

1 10月28日(金)

- インターネット検索
- ソフトダウンロードを学ぶ

2 11月4日(金)

- デジタル写真の基本と整理
- デジタル写真の加工を学ぶ

3 11月11日(金)

- パソコンメール基本と体験
- 添付ファイル送信、メールマナーを学ぶ

※受付、オリエンテーションの時間も含まれます。 ※ICT支援NPOネットワーク宮城所属講師が担当します。

● 場 所/みやぎNPOプラザ(〒980-0851 仙台市宮城野区榴ヶ岡5番地)

● 対 象/文字入力、マウス操作がある程度できる県民(文字練習時間はございません)

ご自分のパソコンを持参できる方(Windows Vista, Windows7)

※機材の有無及び種類は一度ご相談ください。

● 受 料 /7,000円(基本3日間コース)※1日のみ3,000円 ●テキスト代/1,000円(別途)

※手続き完了後のキャンセルによる返金はできません。

● 定 員 /10名(事前申込先着順、但し3日間受講できる方優先)

● 申込方法 /右記連絡先まで、電話、Faxにて申込下さい。折り返しご連絡致します。

● 申込締切 /①10月20日(木) ②・③10月31日(月)

※定員になり次第締め切り致します。お早めにお申し込みください。

● 主 催 /ICT支援NPOネットワーク宮城

● お申し込み・お問い合わせ

[[ICT支援NPOネットワーク宮城事務局]

〒983-0852

仙台市宮城野区榴ヶ岡3-11-6 コーポラス島田B6

特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるる

TEL/022-791-9323 FAX/022-791-9327

E-mail: ict@yururu.com

URI: http://www.ictnpo-miyagi.jp/

※詳細はICT支援NPOネットワーク宮城事務局まで
お問い合わせをお願い申し上げます。